

新基地建設反対名護共同センターニュース

衆院選 沖縄の小選挙区候補全員の勝利を！ 沖縄から野党連合政権実現へ大きな風を起こそう

6日の県庁前の演説会であかみね氏は、「オール沖縄が知事選や国政選挙などで連続勝利したことが、全国の市民と野党の共闘を進展させ、辺野古新基地反対の野党連合政権に向けたうねりを起こしている」と強調しました。あかみね氏は「新基地建設のための膨大な予算を新型コロナウイルス対策や医療予算に回すべきだ。総選挙でオール沖縄の4予定候補、全員勝利で菅政権を退陣に追い込もう。沖縄から野党連合政権に向かう大きな風を起こそう」と呼びかけました。

辺野古米軍新基地建設の阻止をめざす「オール沖縄」の衆院選沖縄県小選挙区の全予定候補が4日、7日に、各区で合同演説会を行いました。



写真右から 1区のアカミネ政賢氏、2区の新垣クニオ氏、3区のヤラ朝博氏、4区の金城トオルの各予定候補（6日、県庁前）

政権交代で辺野古新基地建設を止め、
新基地建設の予算をコロナ対策に回させよう！

違法工事中止を！ゲート前の抗議続く 冷たい雨の中、コロナ対策最優先し



ゲート前では12日まで冷たい雨が続く中、違法工事に抗議する県民の座り込みが続きました。コロナ感染症対策のため機動隊員との接触も避けながらの粘り強いたたかいです。諦めないたたかいが県民を励まし、全国の市民と野党の共闘で政権交代をめざす多くの国民に勇気を与えています。写真はマイクを持つ山城博治現地闘争本部長。（12日午前9時）

諦めないぞ！安和・塩川でも抗議続く

本部町の琉球セメントの鉱山から辺野古に赤土を搬出している安和港と塩川港の現場での抗議も続いています。



琉球セメントの安和と塩川港前では県南部の島ぐるみの人々などが抗議を続けています。信号が変わる都度1台~2台しかトラックを入れさせません。（13日午前10時）

塩川港では、本部町島ぐるみの人々が赤土を台船に積み込むダンプカーの前を、抗議のパネルを掲げてゆっくり横断し、少しでも搬出を遅らせようと頑張っています（13日午前10時半）



名護市から季節の便り



← 緋寒桜（名護城で7日）
↓ つつじ（辺野古で7日）



← シペリヤからの渡り鳥 ヒシクイ（瀬嵩で11日）



日本学術会議と現代史①

屋富祖昌子元琉大准教授がテント村で講演



なお、屋富祖昌子准教授の続編②は、2月4日（木）午前10時半からテント村で行われる予定です。

屋富祖氏は、明治維新以降の日本と世界の現代史の流れを解説。この中で第一次世界大戦後の1920年に日本学術会議の前身・日本学術研究会が設立されたものの、日中戦争や太平洋戦争の勃発とともに戦争への科学動員のための機関となった経過を報告しました。戦後、この教訓から政府から独立した機関として日本学術会議が設立された。菅政権が理由を示さず学術会議会員の任命拒否を行うことは戦前のように学問を戦争に協力させようとするもので許されない、と強調しました。

屋富祖氏は、明治維新以降の日本と世界の現代史の流れを解説。この中で第一次世界大戦後の1920年に日本学術研究会の前身・日本学術研究会が設立されたものの、日中戦争や太平洋戦争の勃発とともに戦争への科学動員のための機関となった経過を報告しました。戦後、この教訓から政府から独立した機関として日本学術会議が設立された。菅政権が理由を示さず学術会議会員の任命拒否を行うことは戦前のように学問を戦争に協力させようとするもので許されない、と強調しました。

戦前の学術研究会は、戦争への科学動員のための機関となった。

ヘリ基地反対協会は7日、ゲート前の座り込み行動の休憩時間にテント村で日本科学者会議沖縄支部会員の屋富祖昌子・元琉球大学准教授（写真）による「日本学術会議と現代史①」のテーマでミニ講演会を開催し、約100人が聴講しました。